

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 29 年 6 月 1 日 (2017.6.1)

【公開番号】特開 2016-179801 (P2016-179801A)  
 【公開日】平成 28 年 10 月 13 日 (2016.10.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-059  
 【出願番号】特願 2015-62519 (P2015-62519)  
 【国際特許分類】

**B 6 0 R 16/02 (2006.01)**

**G 0 6 F 9/445 (2006.01)**

【 F I 】

B 6 0 R 16/02 6 6 0 T

G 0 6 F 9/06 6 1 0 K

【手続補正書】  
 【提出日】平成 29 年 4 月 11 日 (2017.4.11)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

車両に搭載され、汎用 OS により動作するメイン CPU (11) と、そのメイン CPU (11) により制御される周辺デバイス (3, 4) とを備える車載システム (1) であって、

リアルタイム OS により動作するサブ CPU (12) を設けると共に、

起動時において、前記サブ CPU (12) により、前記周辺デバイス (3, 4) の初期化処理を行い、その後、該サブ CPU (12) から前記メイン CPU (11) に前記周辺デバイス (3, 4) の制御を譲渡するように構成され、

終了時においては、前記メイン CPU (11) から前記サブ CPU (12) に前記周辺デバイス (3, 4) の制御を譲渡し、該サブ CPU (12) は、前記周辺デバイス (3, 4) の終了処理を行った後、スタンバイ状態に移行する車載システム。

【請求項 2】

前記周辺デバイスには、前記メイン CPU (11) のアプリケーションプログラムを格納するメディアデバイス (4) が含まれている請求項 1 記載の車載システム。

【請求項 3】

車両に搭載され、汎用 OS により動作するメイン CPU (11) と、そのメイン CPU (11) により制御される周辺デバイス (3, 4) とを備える車載システム (1) であって、

リアルタイム OS により動作するサブ CPU (12) を設けると共に、

起動時において、前記サブ CPU (12) により、前記周辺デバイス (3, 4) の初期化処理を行い、その後、該サブ CPU (12) から前記メイン CPU (11) に前記周辺デバイス (3, 4) の制御を譲渡するように構成され、

前記周辺デバイスには、前記メイン CPU (11) のアプリケーションプログラムを格納するメディアデバイス (4) が含まれている車載システム。

【請求項 4】

前記周辺デバイスには、表示装置 (6) の画面表示を行う映像インターフェース (3) が含まれている請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の車載システム。

## 【請求項 5】

前記周辺デバイス(3, 4)に対し、前記メインCPU(11)とサブCPU(12)との間でアクセス権を切替えるためのセクタ(15, 16)が設けられ、前記サブCPU(12)からの切替え信号により該セクタ(15, 16)を切替え制御することにより、制御の譲渡が行われる請求項1から4のいずれか一項に記載の車載システム。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、本発明の車載システム(1)は、車両に搭載され、汎用OSにより動作するメインCPU(11)と、そのメインCPU(11)により制御される周辺デバイス(3, 4)とを備えるものであって、リアルタイムOSにより動作するサブCPU(12)を設けると共に、起動時において、前記サブCPU(12)により、前記周辺デバイス(3, 4)の初期化処理を行い、その後、該サブCPU(12)から前記メインCPU(11)に前記周辺デバイス(3, 4)の制御を譲渡するように構成され、終了時においては、前記メインCPU(11)から前記サブCPU(12)に前記周辺デバイス(3, 4)の制御を譲渡し、該サブCPU(12)は、前記周辺デバイス(3, 4)の終了処理を行った後、スタンバイ状態に移行する(請求項1の発明)。